

当該ガイドライン草稿を日本輸血・細胞療法学会ホームページにて公開し、パブリックコメントを募ったところ、1件のコメントをいただきました。

コメントに対し下記のように返答いたします。

コメント者

ガイドライン作成者の先生方

掲題の件がございましたので、コメントさせていただきます。

「血小板のガイドライン」にも記載しましたが、エビデンスレベル（？）のDは、科学的根拠と言えないものですので、ガイドラインの名前との齟齬が生じます。

ですから、他のCQにもあるように（推奨度の強さ：なし）とされるのがよいかと思います。

(返答)

ご意見を頂き有難うございます。

エビデンス評価はIMICが公開しているMinds診療ガイドライン作成マニュアル2020ver.3.0に準じて作成しております。推奨の強さと推奨の確実性で表現し、推奨の確実性（エビデンス総体の総括評価）はAからDで表していますので、Dを省くことはできない、と判断しています。

ご理解いただけましたら幸いです。